

国産乳製品等需要拡大事業における事業協力者関連事業

事業No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	乳和食新規レシピコンテンツ開発並びに既存コンテンツの活用促進	若い世代に重点を置いた乳和食の知識普及・活用促進	特に若い世代(10~20代)をターゲットに、若年女性の「やせ」等の国民課題も踏まえた乳和食の価値やコンセプト理解を通して利用促進を図ることを目的に、新たに開発するレシピを含めてウェブサイト等の媒体を通じた情報発信として、既存の乳和食サイトの若い世代向け新規ページ制作および更新等を実施する。また、以下の乳和食サイトに掲載されている既存レシプリーフレットデータ(うち9点ほど)を最新の情報コンテンツに更新・制作する。 https://www.j-milk.jp/nyuwashoku/download_leaflet.html なお、レシピ開発はJミルク及びJミルクが指名する料理研究家が行い、その費用は本事業の見積りに含めなくてよい。	5月~3月	若い世代(10~20代)	乳和食の知識普及・新規乳和食ユーザーの開拓	乳を使った手軽な減塩料理としての乳和食を、10~20代の視点を生かしながら、若い世代に取り入れやすくする工夫。また、既存コンテンツを、有効活用する工夫。	3,500
2	乳和食指導者向け講習会	乳和食の指導者として必要な知識・技能の習得・定着を図るための講習会を企画運営する	日本全国で、乳和食指導者として活躍する者を対象として、乳和食が適切に展開されるよう、必要な知識・技能の習得の場として、基礎及び最新調理技術、レシピを学ぶ乳和食指導者向け講習会(座学+調理実習)の企画・募集等の運営を行う。参加者40名を想定し講師はJミルクが指定する。 ※座学はオンラインを併用し、1回の開催とする。 (見積りに含めなくてよい費用)講師旅費謝金	6月	全国の乳和食指導者	乳和食が適切に展開されるよう、基礎及び最新調理技術、レシピを学ぶ	参加者募集の広報を工夫し、乳和食指導者が全国から参加申込しやすい工夫。	1,500
3	学校給食のない日を対象とした牛乳乳製品の普及啓発活動	牛乳乳製品の活用促進及び牛乳の栄養的価値や利用価値の訴求	小中学校の児童生徒とその保護者を対象に、学校で給食提供が休みとなる土日・祝日、長期休みなどの「給食のない日」にも家庭で牛乳摂取されるよう、牛乳乳製品の飲用・利用習慣を定着させるための取り組み促進と促進のために必要なコンテンツ開発、全国の学校や小売等と連携した食育活動の推進、これらPR活動としての消費者向けイベントの実施及び、SNSを活用した情報発信等による普及啓発活動を実施。 事業実施にあたっては、以下の「土日ミルク」の活動を参考にし、全国の学校や酪農乳業等の関係者とも連携した取り組みを意識すること。また過去2年展開したツールを活用促進することを前提に2024年度の取り組みを通して自走していけるよう、持続可能な手段を講じること。 https://donichi-milk.jp/ なお、全国の関係者と円滑な事業運営を行うため必要に応じて運営事務局を開設・運営する。	5月~3月	子どもとその保護者、酪農乳業関係者、教育関係者等	牛乳乳製品の価値や酪農乳業の理解促進	学校給食休止時の消費減に対応するための牛乳乳製品の普及啓発活動	100,000